

マックスセム エリート クロマによる臨床応用

KAVO ■ Kerr



岩田歯科医院 院長
(兵庫県)

岩田 淳 先生

審美治療において修復物はハイブリッドレジンやセラミックが多用され、それらの接着には接着性レジンセメントが多く使用されています。近年、各メーカーより販売されているレジンセメントはどれも高い接着強度を有し、大差は無いように感じます。しかし、どのレジンセメントを選択しても一緒というわけではありません。高い接着強度は前提であり、臨床においてレジンセメントを選択するもう一つの重要な要素は操作性であると考えています。



特に修復物装着時の余剰セメント除去操作については、多くの先生方、歯科衛生士の皆様がストレスを抱えていることと思います。従来の余剰セメント除去操作は1分30秒~2分程度でタイマーをセットするか、1~2秒程度の光照射を行ってから除去を行いますが、患者様の口腔内の温度や湿度の違い、または光照射器の出力や

照射時の距離の違い等、さまざまな要因で重合が足りず部分的に柔らかく、あるいは硬化し過ぎて除去が非常に困難になる場合があります。

マックスセム エリート クロマは色調変化で重合進度が視認出来るカラーインジケーターの機能があります。最初は濃いピンク色をしていますが、重合が進むにつれてピンク色が徐々に抜けていきます。薄いピンク色の時が余剰セメントを除去する適切なタイミングとなります。重合が進んでいる部分と進んでいない部分は色調に差があるので、進んでいない部分にだけ光照射を追加で行うことも容易です。除去のタイミングが視覚的に判断可能なので誰でもベストタイミングで余剰セメントの除去を行う事が出来ます。また、セメントの除去時には一塊で除去が出来る特徴もあるので、セメント残存を防ぎつつ容易な除去を可能としています。

マックスセム エリート クロマはKerrより発売され、既に数年が経過していますが、未だに他メーカーからはカラーインジケーター機能を有したレジンセメントは発売されていません。この機能は我々が修復物の装着を行う際のストレスを大きく軽減してくれます。

また、マックスセム エリート クロマはセルフアドヒーシブ型のレジンセメントであり、金属やセラミック、歯質に対してプライマー処理は不要です。簡便に使用出来る点もこの製品の良さですが、Kerrの1液性ボンディング材であるオプチボンドユニバーサルをプライマーとして歯面と修復物内面に塗布してからマックスセム エリート クロマで装着することで、より高い接着強度を得る事ができます。これは特に素材の性質上、接着しづらい保険CAD/CAM冠の装着に有効と言えます。

一方、Kerrではプライマー併用型レジンセメントであるネクサス ユニバーサルを販売しています。こちらはKerrのボンディング材はもちろん、使用中の各社ボンディング材を買い替えることなく併用できるレジンセメントであり、プライマー併用を前提としています。

先に述べたようにマックスセム エリート クロマは操作性や経済性に優れ、オプチボンド ユニバーサルを併用することでさらに高い接着能力を得ることも可能な、非常に使いやすいセルフアドヒーシブ型レジンセメントと言えます。また他社のプライマー併用型レジンセメントを多く使用され、その操作性に不満をお持ちの方は、このマックスセムエリートクロマと同様の優れた操作性を有したプライマー併用型レジンセメントのネクサスユニバーサルを選択する価値は十分にあると考えます。



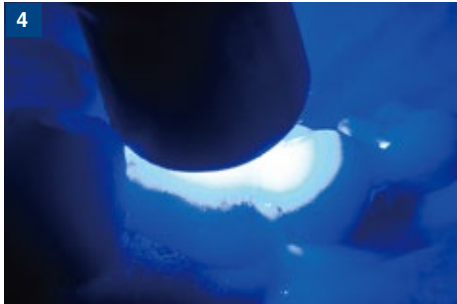
1 支台歯にはオプチボンド ユニバーサルを塗布し、エアブロー、光照射を行う。



2 CAD/CAM冠内面はサンドブラスト後、清掃し、オプチボンド ユニバーサルを塗布、エアブロー、光照射後、マックスセム エリート クロマを填塞する。



3 全周から余剰セメントが溢れることを確認、余剰セメントはピンク色を示す。



4 短時間のタックキュア(予備照射)を行い、ピンク色が抜けたことを確認。



5 余剰セメントは簡単に除去できる。



6 余剰セメントの除去完了。この後、再度光照射を行う。

マックスセム エリート クロマ / 接着性レジンセメント

オプチボンド ユニバーサル / 1液性ボンディング材



製品情報はこちら
<https://bit.ly/3egWz5K>

製品情報はこちら
<https://bit.ly/2OAO18q>

管理医療機器 歯科接着用レジンセメント 医療機器認証番号:228ADBZX00053000

管理医療機器 歯科用象牙質接着剤 医療機器認証番号:230ADBZX00058000

商品のご注文は、お取引歯科材料店様までお願い致します。



カボウェブサイト

カボデンタルシステムズ株式会社

〒140-0001 東京都品川区北品川 4-7-35 御殿山トラストタワー15F
 カー製品担当 TEL:03-6866-7272 FAX:03-6866-7273
<http://www.kavo.jp>
 KKSJJB2103V1 KR-0241